

日本共産党
流山深井後援会

ニュースあすなる

2017年2月20日
第216号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
(部内資料)

森田県政で遅れた教育・福祉 開発から暮らし優先へ

新しい知事を選ぶ会が候補者擁立

任期満了に伴う県知事選(3月9日告示、26日投開票)で、安保法制に反対する市民団体などで構成する「新しい知事を選ぶ会」(旧・みんなで新しい知事を選ぶ会)が14日、県庁で記者会見し、新人で元県立高校教諭・元千葉県高教組副委員長の角谷信一(すみや しんいち)さん(62)を無所属で擁立することを発表しました。会は市民中心で、政党との支持協力関係や政策の詳細は最終調整中です。

会の基本政策の柱

- ①県民のいのちと暮らし、高齢者を大切に!
 - ②子育て安心、若者に夢と希望を!
 - ③中小企業や農林漁業に光を!
 - ④全国4位の「財政力」を
- あなたの暮らしのために!

市有地の活用 市民の声聴いて!



報告する植田和子市議

1月29日(日)午後、江戸川台東自治会館で第22回植田和子議会報告会が行われました。急激な人口増に対応できない流山市政、おたかの森駅周辺の市有地の使い方など、市民の立場に立ち議会に臨んだことなど報告がありました。

参加者の声

おたかの森駅北口の市有地(市民の財産である)の活用は、当然、市民や市議会の声を聴いて進められるべきです。それなのに、市長の独断で、

耕地の物流センター建設現場などの写真を見ながら、参加者は熱心に討論しました。

再稼働やめ 原発から撤退を!!

2期8年の森田県政は大型開発優先で、教育・福祉に冷たい県政でした。昨年、新潟知事選挙(市民と野党の力が勝利)に続けと、市民団体「みんなで新しい知事を選ぶ会」を発足させ、政策を練り上げ、候補者選びをしてみました。候補者を角谷信一さんに決め、「新しい知事を選ぶ会」(ドット)「ちば」が誕生しました。

1月31日 29日の議会報告会に、ご参加ありがとうございました。みなさんからの様々なご意見、ご質問の中で担当課に聞いてわかったことをいくつもお知らせします。

①江戸川台福祉会館で、2月から利用人数を男女別に報告しなければならぬのはなぜ?の質問。市内の福祉会館では毎年2、3ヶ所ずつ、トイレ改修が行われています。他の福祉会館で、女性用より、男性用の方が広い所があり、女性の利用頻度の方が高いから、その改修時には、男女のトイレを逆にしようという話になったそうです。

ただ、女性の頻度の方が高いかどうかを裏付け、はっきりした統計がないので「利用人数だけ」でなく、男女別の統計も今後とっておかないといけない」となったそうです。市内全部の福祉会館で男女別の統計をとるそうです。

②消防車の台数について。小型の消防車は市内全部で17台あるそうです。今回、要望があった細い道が多い西深井ですが、この地域管轄の消防団(10分団)に小型ポンプ車は、配備されていません。はしご車については2面に別掲載します。

2月10日 3月議会の植田和子の一般質問の日程が決まりました。

2月22日(水) PM 3時半です。ご都合のつく方は、是非、傍聴にお越し下さい。他の3人の議員団も22日と23日に質問します。

千葉県知事選挙 3月9日告示 3月26日投開票 告示までわずか みんな選挙に行こう。

議会に知らせないままにマンションやホテルの建設、市負担ゼロでの公共施設の建設という市長こだわりの計画で進められようとしています。おたかの森駅周辺は急激な人口増加により、おたかの森小中学校、小山小学校が教室不足で、新設校の建設が余儀なくされています。保育所の待機児童も増えています。これ以上急激な人口増加はどうなのか、市有地に

また、新設校の建設費用もおたかの森小中学校のように多額に上ります。格差を広げないためにも、普通の学校でいいと思います。これらの問題に目が離せません。市政の問題点がは

第23回 予定
植田和子議会報告会
日時 2017年 4月23日(日)
10時~12時
場所 北部公民館2階 講義室
3月議会が始まりました。議会の様子をお話しさせていただきます。お誘い合わせのうえにお越しください。

「一年を二十日で暮らすいい男」という川柳がある。江戸時代の相撲取りは10日間の勸進相撲を春秋二場所務めれば、いい暮らしができる。羨ましい。年間6場所90日のいまは比ぶべくもなく忙しい。その中で稀勢の里が希望の横綱昇進。おめでとう! ところがもう一人居た。一年を二十日で暮らすいい(御身分の)男。文科省を退職して天下り、月2日出勤で年間一千万も稼いでいたという嶋貴氏。一日40万稼いでいたか? 何をしていたか? 知らないが、おそ中会社にいたわけではある。勤務室もなしに一日中居られたらまらない。半日居たとしても時給10万? そのお金は我々が払ったこの保険会社の保険料ということになる! こんないつことなる! こんないつことなる! こんないつことなる! こんないつことなる!

